

■ 鹿児島ウーマンライフ研究会代表

鹿児島ウーマンライフ研究会は、県男女共同参画センター主催の講座修了生を中心に2011年に結成した。「好きな活動や仕事をしている女性たちが集まり、多様な人生を歩いていいんだよ」と認めあえる居場所づくりがしたかった」

現会員は約50人。自主勉強会のほか行政委託も受ける。3月まで運営を任されている鹿児島市の女性起業家育成事業には、10〜50代の女性たちが参加する。専業主婦も派遣もパートも起業も経

か夏さん
の野
の矢

かお



てきた自らの体験を生かし、講師の一人としてそれぞれの夢を実現する方法を伝えている。

大阪で生まれ育った。6年前、新婚の夫の転勤について来た鹿児島には縁もゆかりもなかった。友達ほしさに片っ端から公民館講座に通った後、「もっと広い世界を」と

願い、社会保険労務士事務所にパート採用されたのが転機となった。

大学卒業後、大手IT企業に身を置いていた数年間の知識を生かし、データ電子化や資料整理のルールを提案。仕事ぶりが認められ、数カ月で正社員に登用された。さらに事務所は「あな

たが得意なことをどんどんやって」と道を開いてくれたことから、顧客企業の人材育成に乗り出した。自信がついたころ、組織や個人向け研修を手がける事業で起業。雇用主だった事務所はビジネスパートナーになった。

けんかしても「てげてげ」におさめる関係が仲良しの秘訣、という夫が釣ってくる地魚で食卓をにぎわすのが楽しみ。魚のさばき方は公民館講座で習った。すべてのキャリアに興味があると思わせる34歳。鹿児島市在住。(編集委員・門田夫佐子)